

TERRA ネット福井は東日本大震災を機に県内の宗教者が宗派を超えて集い、追悼の集いや福島子どもサマーキャンプ（他団体と協働）などの活動を中心に、悼むということ、寄り添うということ



2020.7 禅林寺 震災等追悼会



2020.5 金剛院 座談会収録 (たんなんFM)



2019.7 福島子供サマーキャンプ

とについて考えてきた集まりです。活動の中で、死を通して生を見つめることの大切さを感じてきました。

2020年春、新型コロナウイルス感染拡大が起こり、様々な事が変化し葬儀や仏

事も急激に変わってしまいました。このことはウイルス自体が原因なのではなく、これまで地域社会によってかろうじて保たれてきた習慣が、コロナ禍の影響によってもろくも崩れ去ってしまったのだと

思います。

そこで改めて、これまで護られてきた葬送習慣は一体何だったのか、これからどうあるべきなのかを考えていく取り組みを始めました。そのひとつとしてこのパンフレットを作成し、発信した次第です。

決して昔からの習慣を頑なに護ろうと訴えたいわけではなく、現代社会を生きる者同士これまでも見直し、これからの「追悼の仕方」を模索するという作業を共有したいと願っております。

皆様からご意見ご感想をお寄せいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。



詳細はQRコード参照



<http://www.terranel-fukui.org/>

代表：真宗大谷派・専光寺住職 佐々本尚

問合せ：terranel.fukui@gmail.com

または下記まで

受付！  
カンパ

郵便銀行 三三八店 普通 0499665  
名義 テラネットフクイ  
\*領収書を発行します

2020.12月作成

# 死から始まる

# であい



忙しい毎日  
「死者」が後回しに  
なっていませんか？



宗派を超えて集う～  
TERRA ネット福井

小規模葬を考えるリーフレット vol.1

## 死から始まる 出会いとは？

現代人には

「人間は死んだら  
しまい」と考える方が  
増えているようですが、ほんとうに  
死んだらおしまいなのでしょうか？

通夜葬儀を終えて遺族の方が「あんなに沢山の方がお参り下さってびっくりしました」「参列の方から私の知らない故人の話が聞けて救われました」というような声をお聞きする事があります。

日頃家族と距離がどれほど近くても、どれほど理解していると思っても、必ず家族の知らない面があるはずです。また失って初めて気がつくこともたくさんあるはずです。

通夜葬儀とは故人の人間関係を改めて知ることと自分との関係が見直

されてくる、そういう大切な時間を与えられる儀式なのではないでしょうか？ いったいみれば「死を通して改めて故人と出会い直ししていく関係」が始まるのです。

しばらく前までは、家を建て替える時や重要な選択をする時などに、亡くなられた方（死者）と対話したり報告したりしている人の姿を見かけました。

最近では生者が中心であり全てであるという風潮がありますが、大切な事を自分の都合だけで判断してしまふより、死者（仏様も含んで）と相談しながら決めていく人生の方が豊かさを感じませんか？

人は死んだらおしまいではなく、「死から始まる」出会いがあるのです。

お寺さんも葬儀も初めて、わからないことばかり。

経済的に余裕なく、もしものときどうしたら？

高齢だし、今は近所付き合いもほとんどありません。

独身で頼れる人も少なくて…。

子どもも遠方、家やお墓の後継ぎも先行き分らないんです。等々



今やご家庭の事情は実に様々です。お困りごとや心配なこと、小さなことでも是非お近くのお寺やお坊さんなどを訪ねてみませんか？是非どうぞあなたのお話しご相談、お待ちしております。

